

レジメン名	Pola+BR 療法 (2 コース以降)						
対象疾患 (癌腫)	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫						
適応分類	<input type="checkbox"/> 初発・未治療 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 維持療法 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
No.	薬剤 (商品名)	投与量 (基準値)	投与方法	ルート	投与時間 速度	投与日 (Day●)	投与上の注意
2 コース以降 Day 1    ★準備する輸液セット：ケモセーフロック輸液セット							
1.	コロナール錠 500mg ポララミン錠 2mg	1 錠 1 錠	内服			Day 1	前投与 内服 30 分後にリツキシマブ投与開始
2.	アロキシン点滴静注パッグ 0.75mg/50mL デキサート注 3.3mg/1mL	1 本 2A	点滴静注	メイン	208mL/h (15 分)	Day 1	前投与
3.	トレアキシン点滴静注液 (ベンダムスチン) 製剤規格：100mg/4mL 生食 50mL	90mg/m <sup>2</sup>  50mL	点滴静注	メイン	330mL/h (10 分)	Day 1	
4.	生食 50mL (フラッシュ用)	1 本	点滴静注	メイン	10 分	Day 1	
5.	リツキシマブ BS 点滴静注 (規格：100mg/10mL・500mg/50mL) 生食 250mL	375mg/m <sup>2</sup>  全量を 250mL に調製(希釈濃度 は 1~4mg/mL)	点滴静注	メイン	最初の 30 分 →100mL/h その後 60 分 →200mL/h	Day 1	投与時間短縮法
6.	生食 50mL (経過観察用)	1 本	点滴静注	メイン	30 分	Day 1	
2 コース以降 Day 2    ★準備する輸液セット：ケモセーフロック輸液セット・フィルター付き							
1.	コロナール錠 500mg	2 錠	内服			Day 2	前投与 内服 30 分後にポライビー投与開始
2.	デキサート注 3.3mg/1mL ポララミン注 5mg/1mL 生食 50mL	2A 1A 50mL	点滴静注	メイン	212mL/h (15 分)	Day 2	前投与
3.	トレアキシン点滴静注液 (ベンダムスチン) 製剤規格：100mg/4mL 生食 50mL	90mg/m <sup>2</sup>  50mL	点滴静注	メイン	330mL/h (10 分)	Day 2	
4.	生食 50mL (フラッシュ用)	1 本	点滴静注	メイン	10 分	Day 2	
5.	ポライビー点滴静注用 (ポラツズマブ) 製剤規格：30mg 140mg 注射用水 20mL (溶解用) 30mg バイアルあたり 1.8mL 140mg バイアルあたり 7.2mL 生食 100mL	1.8mg/kg  必要量  全量 100mL に 調製	点滴静注	メイン	200mL/h (30 分)	Day 2	インラインフィルター使用  ※ポライビー投与量<72mg の場合は、全量 50mL に調製
6.	生食 50mL (経過観察用)	1 本	点滴静注	メイン	30 分	Day 2	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポラツズマブ、リツキシマブの初回投与時は infusion reaction が起こりやすい。症状が現れた時は、ただちに投与中断し、適切な処置を行う。</li> <li>リツキシマブの 2 回目以降の投与時間短縮について 下記条件に該当する場合、90 分間に短縮可 (最初の 30 分間で投与量の 20%、その後 60 分で残りの 80%を投与)。 臨床的に重篤な心疾患を認めない、初回に発現した副作用が軽微、末梢血リンパ球数が 5000/<math>\mu</math>L 未満</li> <li>ポラツズマブの 2 回目以降の投与時間短縮について 初回投与時に忍容性が良好であれば 30 分まで短縮可</li> </ul>						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレアキシン希釈調製後、室温で6時間以内保存可。</li> <li>・血管外漏出時のリスク</li> </ul> トレアキシン：炎症性抗がん剤
インターバル日数 (1コース期間)	3週間
総コース数	全6コース
投与中止・延期基準 減量基準 (別紙添付可)	別添
主な副作用	<p>&lt;主な副作用&gt; 感染症、血小板減少、貧血、末梢性ニューロパチー、アレルギー反応</p> <p>&lt;注意を要する副作用&gt; 腫瘍崩壊症候群、進行性多巣性白質脳症(脳の障害)、肝機能障害</p> <p>・海外第I b/II相試験(GO29365試験)での主な副作用 好中球減少症 53.8%、血小板減少症 41.0%、下痢 33.3%、貧血 33.3%、発熱 20.5%、末梢性ニューロパチー 20.5%</p> <p>・国内第II相試験(JO40762試験[P-DRIVE試験])での主な副作用 貧血 37.1%、悪心 31.4%、血小板減少症 25.7%、好中球減少症 25.7%、便秘 22.9%、血小板減少及び好中球減少 22.9%、倦怠感 20.0%、食欲減退 20.0%</p>
レジメン解説 エビデンス資料 (国内で承認された用法・ 用量並びに投与経路が異なる 場合は必須)	海外第I b/II相試験(GO29365試験) 国内第II相試験(JO40762試験[P-DRIVE試験])